

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	高齢者の在宅生活の支援	施策No	02-03	部課名	福祉部高齢者福祉課
				課長名	山下 内線 2660
関連部課名	福祉部介護保険課				
行政評価事業体系	分野	I	生涯健康都市		
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		

目的	高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービス以外にも、高齢者の在宅生活を支援する多種多様なサービスを提供していく。				
----	---	--	--	--	--

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		3年度	4年度	5年度			
指	①福祉の充実度	3.16	3.13	3.14	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？		
	②						
	③						
	④						
標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		3年度	4年度	5年度	6年度見込み	目標値(8年度)	
	①見守り名簿登録割合(65歳以上のうち登録者が占める割合)	10.0	10.3	10.6	10.6	10.5	
	②高齢者みまもりネットワーク事業登録者数(人)	4,995	5,103	5,241	5,241	5,250	
	③高齢者入浴事業受給者数(人)	8,904	8,943	8,928	11,519	12,512	各年度3月31日現在
	④高齢者自立支援用具給付件数(件)	400	440	639	782	935	各年度3月31日現在
	⑤高齢者補聴器助成件数(件)	—	88	158	263	292	各年度3月31日現在

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
行政費用	給与関係費	60,776	66,353	5,577	地方税等	0	0	0
	物件費	314,494	336,344	21,850	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	98,822	97,862	▲ 960
	扶助費	104,446	126,908	22,462	分担金及び負担金	841	2,762	1,921
	補助費等	8,432	11,813	3,381	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1,162	16,934	15,772
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	127	6	▲ 121	行政収入合計(a)	100,825	117,558	16,733
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,255	7,387	4,132	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 390,705	▲ 431,253	▲ 40,548
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	491,530	548,811	57,281	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 390,705	▲ 431,253	▲ 40,548
特別費用	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	134	134
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	134	134	当期収支差額(e)+(h)	▲ 390,705	▲ 431,119	▲ 40,414
貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	3,052	4,483	1,431	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	▲ 127	▲ 6	121	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 280,066	▲ 358,433	▲ 78,367	賞与引当金	2,505	3,094	589
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債			
	建物	0	0	0	特別区債	16,921	21,564	4,643
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
固定資産	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	16,921	21,564	4,643
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	19,426	24,658	5,232
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 296,567	▲ 378,614	▲ 82,047
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 296,567	▲ 378,614	▲ 82,047
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	▲ 277,141	▲ 353,956	▲ 76,815
資産の部合計		▲ 277,141	▲ 353,956	▲ 76,815				

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として物件費が一番多く計上されており、そのうち92%が委託料である。みまもりステーション運営事業、緊急通報システム事業等の委託料の増により、物件費が増加している。
○委託料のうち30%を、高齢者みまもりステーション運営事業の委託料が占めている。
○扶助費のうち97%は高齢者紙おむつ購入助成事業に係る費用である。
○行政収入の「その他」には主に、高齢者虐待対策事業における緊急医療保護の利用者負担金が計上されている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○団塊の世代が75歳を迎える令和7年（2025年）には、高齢者人口はやや減少傾向となるものの、後期高齢者が大幅に増加し、医療・介護サービスが必要となる方の増加が見込まれている。 ○日常生活圏域ニーズ調査結果では、介護が必要になったら介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らすことを望む高齢者が多かった。 ○都監察医務院の統計によると区内では毎年約100人の単身高齢者が自宅で亡くなっている。 ○令和5年度「みまもりネットワーク事業」の名簿登録者は5,241人となっており、区内に住む65歳以上のうち登録者が占める割合は約10.6%である。
課題	○後期高齢者の増加に対応するためには、区や介護サービス事業者だけでなく、区民や企業、地域で活動する団体等、地域で高齢者を支える担い手を増やしていくことが求められる。 ○地域の人材をはじめ様々な資源を活用し、高齢者の在宅生活を支えるための支援を充実していく必要がある。 ○高齢者の孤立を防止するため、地域での見守りの重要性について認識を深めていくとともに、「みまもりネットワーク事業」をはじめ地域における見守りの体制を充実していく必要がある。
今後の方向性	○これまで「支えられる側」と考えられてきた高齢者に、それぞれの状況に応じて、「支える側」として役割を担ってもらう仕組みづくりを行う。 ○区民相互の助け合いをベースとした地域力の向上を図り、区民をはじめ企業や団体等による生活支援サービスの充実など、地域全体で高齢者を支えていく体制を構築する。 ○「みまもりネットワーク事業」の一層の充実を図るとともに、名簿登録者を増やすための周知活動を行い、勧奨していく。あわせて、民間事業者を含め地域の力を活用して、様々な見守りのツールを増やしていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	多様化するニーズに対応し、高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、地域全体で支える仕組みの充実に向けて、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
理美容サービス事業	08-03-06	2,581	1,529	1,423	1,352	継続	継続	利用者の利便性を高めながら、引き続き実施する。
高齢者紙おむつ購入助成事業	08-03-07	103,239	123,130	103,089	122,953	継続	継続	経済的負担軽減の為に引き続き支援していく。
特別永住者等福祉給付金	08-03-08	570	537	420	360	継続	継続	無年金外国人の健全な生活の維持及び向上のため、引き続き実施する。
寝たきり高齢者寝具水洗乾燥消毒事業	08-03-09	832	495	682	318	継続	継続	在宅生活における環境衛生及び健康保持のため、引き続き実施する。
高齢者入浴事業	08-03-10	54,773	56,424	54,623	56,247	継続	継続	高齢者の健康の保持・増進を図り、あわせて銭湯を拠点とした交流を促進する観点から引き続き実施する。更に、対象年齢を65歳に引き下げることで制度の拡充を図る。
緊急通報システム事業	08-03-11	33,488	36,796	28,614	31,067	推進	推進	在宅高齢者の安全安心のために必要であり、見守りを強化するために、利用者の拡大を図る。
高齢者配食見守りサービス事業	08-03-12	23,358	25,264	23,208	23,941	継続	継続	高齢者の見守り及び低栄養状態予防のひとつの手段として、引き続き利用者の拡大を図る。
交通安全杖支給事業	08-03-13	398	541	248	364	継続	継続	高齢者が安全に外出できるよう支援するために今後も継続する。
在宅介護者マッサージ事業	08-03-14	795	969	645	792	継続	継続	介護者の慰労及び心身のリフレッシュを図る一助になっており引き続き実施する。
高齢者みまもりステーション運営事業	08-03-15	90,181	97,649	86,432	91,280	重点的に推進	重点的に推進	安否確認や実態把握のほか、高齢者の見守り拠点として関係機関との連携を図るなど重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
高齢者みまもりネットワーク事業	08-03-16	6,317	7,971	2,393	2,026	重点的に推進	重点的に推進	単身独居高齢者など、日頃からみまもりが必要な方の加入を増やすため、多様な世代の方や地域の方にみまもりネットワーク事業の取組みを周知していくなど引き続き重点的に推進する。
敬老週間事業	08-03-17	27,090	29,935	24,091	26,850	改善・見直し	継続	高齢者の長寿を祝う事業として、引き続き実施する。
避難行動要支援者事業	08-03-18	2,826	3,052	847	848	推進	推進	より実効性のある避難支援体制の構築を推進していく。
高齢者自立支援用具給付事業	08-03-19	15,490	15,449	10,615	12,364	推進	推進	引き続き事業周知を行い、推進していく。
おとしよりなんでも相談窓口	08-03-20	3,502	4,097	—	—	継続	継続	高齢者に関するあらゆる相談窓口として継続していく。
介護サービス事業（措置分）	08-03-24	16,270	18,959	10,894	12,784	継続	継続	法定措置事務として、必要とする高齢者に適切に措置していく。
高齢者生活管理指導事業	08-03-25	4,124	2,909	0	0	継続	継続	生活支援の需要があるため、継続して実施する。
緊急事務管理事業	08-03-26	6,922	5,495	1,673	1,705	継続	継続	後見制度を利用するまでの間、適切に高齢者の生活を支援するために必要であり、引き続き実施していく。
高齢者虐待対策事業	08-03-27	11,657	16,663	5,284	5,646	継続	継続	高齢者の虐待防止のために、早期発見及び相談・支援の充実に適切に実施していく。
成年後見事業	08-03-28	7,896	13,362	773	1,904	推進	推進	今後も身寄りのない認知症高齢者等は増加が見込まれるため、成年後見事業を推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
生活支援体制整備事業	08-03-44	74,543	82,333	72,290	78,367	推進	推進	人生１００年時代に向け て、地域包括ケアシステムの 構築を目指し、在宅生活の継 続を図るために、地域におけ る多様なニーズに対応できる 生活支援体制やアンオフィ シャルサービスの構築を推進 する。
高齢者補聴器助成事業	08-03-46	4,681	5,258	2,204	3,935	推進	推進	日常生活でのコミュニケー ションを確保し、積極的な社 会参加を促すため、対象者を 拡大して推進する。
合 計		491,533	548,817	430,448	475,103			

